

Lorinser

W222 S-Class Facelift

新たな意匠で威風堂々たる姿 エッセンショーで世界初公開!!

押し出しの強いエアロによるスタイリングから
シンプルスタイルへと舵を切ったかに思えたロリンザーだが
やはりフラッグシップのSクラスはひと味違った!

※ロリンザージャパン ☎06-6832-3066 www.lorinser.co.jp



取材に対応してくれたエクスポート
マネージャーのハチコイデイス氏。
今回デビューのSクラススタイリング、
すでにかなりの評判だそうだ。



①両サイドを扁平押し出したフロントリフト。ロ
ードクリアランスを保持しつつスポーティなシル
エットを演出する。②律びやかなホイールベースを
さらに強調するスカート。小さなパーツだが理
想的効果が高い。③ルーフを低減するように調整さ
れるリアルーフライン。④スクエアなフィニッシュ
も際立つ。⑤スクエアなフィニッシュ。⑥強い
推されぬようにロリンザーと分かる仕掛け。⑦ホリ
ニウム製のセンターレグスポイラー。⑧シンプ
ルだがアクセントとなる



www.lo

揺るがない
存在

Lorinser

PERFEK

Lorinser



アイコンニックなアエンダー
×新作部品の生む迫力
縦スリットという新たな造形に連なるロリンザー。
ハイエンドなSクラスだからこの迫力が生まれる。
収まるホイールは、RSK5 (写真左) とRS10 (右)



シートランスポールやフロアマット、アルミペダルな
どが磨かれた室内。アームレストにはロリンザーの旗
章がエンボス加工されている

ひと目でロリンザーと分かる アイコンニックなアエンダーが復活

フルバンパーによるエアロスタイ
リングを兼ね、小振りなエアロでデ
イテールアップする方式へとシフト
したロリンザー。エッセンでのワー
ルドプレミアは、フェイスリフトし
たSクラスのAMGパッケージをヘ
イスにしたプログラムだ。

トビツクは、なんといっても豪放
的なアエンダーの存在だろう。ロリ
ンザーは長らくスリットを軸としたフ
エンターをひとつのアイコンとして
きたが、ここ数年はその作品にもそ
のフエンターが採用されてこなかっ
た。ロリンザーファンのなかには、
ちょっと物足りなさを感じたヒトも
少なくないだろう。しかし今、満を
持して、W222の後期型になってつ

いに伝統的なフエンターが復活したの
だ。しかも今作は上下のプレスライ
ンを兼ね、一本の縦スリットという、
挑戦的で大胆な仕立て。もなみに見
ただけではなく、エンジン内の熱
気を排出するように機能しているとい
う。そこに収まるのは、新作の鍛
造ホイールRS10の21インチ版だ。
ボトム回りはシンプルなライン。
フロント、サイド、トランクともに
ホリニウムは抑えられており、AM
Gスタイリングのシルエツトを強化。
リアアエンターはダイブブレーキ形状
に仕立てて、左右に菱形のフィニッ
シャーが収まることで、さらにスポ
ーティさを引き立てている。

徹々たるフラッグシップの存在感
を、エレガントさが漂うスタイルで
仕立てたロリンザーの新作「S」の、
Sたる姿。ここに完成だ。

